

気象警報・注意報発令時、南海トラフ地震に関連する情報(臨時)発表時、全国瞬時警報システム(Jアラート)警報時の対処

静岡県立富士宮北高等学校 (0544-27-2533)

1 気象警報・注意報発令時の対処

情報		授業	登校前発令	登校後発令
注意報	強風	平常授業	① 今後の気象情報や地域の実情等を家族と相談し、安全に登下校できることを確認した上で登校する。 ② 安全に登校することが心配される場合は、学校に連絡し、自宅で待機する又は状況を見て登校する。	① 気象情報や地域の実情に応じ、下校させることもある。
	大雨			
	洪水			
警報	暴風	授業中止	① 午前6時の時点で、富士宮市(学校所在地)又は各生徒の居住地において発令されている場合は、午前11時まで自宅で待機する。 ② 午前11時の時点で、富士宮市(学校所在地)又は各生徒の居住地において警報が解除されていない場合は終日待機(休校)とする。 ③ 午前11時までに、富士宮市(学校所在地)及び各生徒の居住地において警報が解除されている場合は、午後の授業に間に合うように登校する。 ただし、今後の気象情報や地域の実情等を家族と相談し、安全に登下校できることを確認した上で登校する。 安全に登下校することが心配される場合は、学校に連絡し、自宅で待機する又は状況を見て登校する。	① 安全を確認した後、下校させる。 【確認事項】 ・交通、道路情報の確認 ・保護者の引き取りの有無 ・集団下校者の確認 ・自転車通学生の安全指導 ・下校途中で帰宅不能になった場合の対処方法 ② 安全に下校することが困難な生徒については、保護者と連絡を取り、学校で待機させるなど適切な対処をする。
	大雨	平常授業	① 今後の気象状況や地域の実情等を家族と相談し、安全に登下校できることを確認した上で登校する。 ② 安全に登下校することが心配される場合は、学校に連絡し、自宅で待機する又は状況を見て登校する。	① 気象情報や地域の実情に応じ、下校させることもある。
	洪水			
特別警報		暴風警報の対応に準ずる。		
備考		休校とする場合は、「学校一斉メール等」による連絡網で連絡する。 気象警報・注意報については気象庁のホームページでも情報が収集できる。		

2 南海トラフ地震に関連する情報(臨時)発表時の対処

静岡県庁内の「危機管理連絡調整会議」からの情報・指示を受け

- ・登下校中は、帰宅または避難(広域避難場所など)する。
- ・在校中は、学校内に留め置きまたは下校させる。
- ・在宅中は、自宅待機する。

注意点：海岸及び河川などに近い生徒は、「津波」の襲来も想定して行動する。

3 全国瞬時警報システム(Jアラート)警報時の対応

(1) 緊急情報「ミサイル発射」の発信時

- ① 始業前 自宅待機や建物内への避難行動をする。
- ② 登下校中 近くの建物に避難する。電車やバスに乗車中の場合は事業者の指示に従う。
- ③ 在校中 授業を中止して建物内へ避難したり、できる限り窓から離れたりする。
- ④ 放課後 部活動等は中止し、建物内への避難行動をとる。

(2) 緊急情報「ミサイル通過」(影響がない場合)の発信時(「ミサイル落下」(影響がない場合)を含む)

- ① 始業前 安全が確認でき次第、自宅待機や避難行動をやめ、登校する。
- ② 登下校中 安全が確認でき次第、避難行動をやめ、登校または下校する。
- ③ 在校中 安全が確認でき次第、授業を再開する。
- ④ 放課後 安全が確認でき次第、部活動等を再開する。または下校する。

(3) 緊急情報「ミサイル落下」(影響がある場合)の発信時

全時間帯 安全を最優先し、避難行動をとる。自治体からの指示がある場合は、指示に従う。

※ 自宅待機や避難行動等の対応により登校に遅れた場合は、「遅刻」としない。